

いいいぶ



携帯サイトQRコード

謹んで新春のお喜びを申し上げます

当院は、熊谷茂樹先生が「私立岩国病院」を1884年6月に設立されて以来130回目のお正月を迎えました。

近年の気候不順、災害の多発を見るにつけても、小病院が、130年もの間事業を継続して来られたことに驚きを禁じえません。

この間、世界規模の戦争や社会の激変の中、熊谷先生や幾多の先輩たちのご苦勞は幾何ばかりであった事でしょう。それも数多くの周囲の人々の支えがあつての事と感謝の念でいっぱいあります。

微力ながら、今年も全力を振り絞り数多くの人々の健康を願って努力を続ける所存であります。

ご一同さまの幸せを祈り、新春の決意を申し上げます。

2015.1.1 医療法人岩国病院 院長

庄司 孝

私が岩国病院で勤務するようになり、早いもので一年程過ぎました。

ここ数年、地方の医療介護問題はより深刻化しており、この一年でも、自然災害の激化とともに医療情勢の厳しさが目立っています。

当院も当然その影響を免れ得ず、私個人としても強い危機感を抱いております。

しかし幸い我が病院は130年の歴史があります。

偉大なる先人たちの尽力の上に、現存する私たち医療スタッフが成り立っているのだと感じます。また皆さま地域の方々の温かい眼差しによって、存在し得るものでもあると思っています。頑張らない訳にはいきません。

これからただひたすらに、地域医療の充実と発展に邁進する所存です。

皆さまのご多幸を祈りつつ、新春のご挨拶とさせていただきます。

平成27年 元旦 医療法人岩国病院 理事長

庄司 凡

「プランドール錦見」始動レポート

サービス付高齢者向け住宅「プランドール錦見」が平成26年11月1日にオープンし、約1ヶ月が過ぎました。

2Fの南側の7部屋はすべて入居者が決まり、現在は男性1名・女性5名の方が「プランドール錦見」で新しい生活をスタートしています。最も高齢の方が94歳、お若い方が78歳で、平均年齢は84歳のお元気な高齢者の方々です。

それでも入居の際はほとんどの方が、「高齢者住宅の生活ってどうだろう?」「施設とは何がちがうの?」

など、少し緊張して不安な気持ちで引っ越して来られます。そして新しい生活が1日、2日、1週間と過ぎるうちに、食事、入浴、就寝・起床時間がマイペースで自分らしく暮らせる環境に自然と慣れて来る様です。

編み物が趣味の人達は、作品を見せ合っておしゃべりに花を咲かせています。また、外からお友達を呼んでオセロゲームを楽しまれている方もおられます。外出の機会も多く、デイサービスに通う方や、ヘルパーとの買い物同行、御家族と1泊2日の家族旅行に出掛ける方など様々です。

先日は、84歳の女性から「初めてコンビニで買い物をしたけど、何でもあるんだね。」とお年寄り版“はじめてのお使い”のような話を聞かせて頂きました。又90歳を過ぎた女性が「生まれて初めてクリスマスツリーの飾り付けをして、とっても楽しいね!」と目を輝かせて話す姿を拝見し、

高齢になってもドキドキ・ワクワクする体験は、みんなを新鮮で幸せな気持ちにしてくれると感動しました。

「プランドール錦見」の入居者様が、温かく家庭的な雰囲気の中で、快適なシルバーライフが過ごせるように、これからもスタッフ全員で協力し、必要に応じたサービス提供体制を整えていきたいと思ひます。そして、入居者様と笑顔や会話を交わす事がスタッフの喜びになるような「プランドール錦見」であり続けたいと思ひます。

平成26年12月吉日

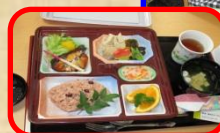
プランドール錦見 統括責任者 萩原



入居者様たちご自身で飾りつけたクリスマスツリーです。初々しい笑顔で「はい、チーズ!」



入居のお祝い膳を皆で囲みました。



オープンを記念して庄司凡理事長が寄贈した「life」は、繊細な包容力とバイタリティを併せもつ女性像。作製した岩国市在住の彫刻家、竹村 愛(かな)さんと一緒に

院長宅の雑種の双子ちゃん ミナトとタビの近況です!

ミナト「ドッグスクールから里帰り(≧▽≦) タビちゃん元気にしてた?」



タビ「一人でのびのびしてるせいか、ちょっと太っちゃったの(><)」

防火訓練が行われました

去る12月11日、西消防署立会いのもと、院内の消防訓練が実施されました。

夜勤想定での通報ののち、屋内消火栓の使用方法的説明を受けてから患者様の運び出しの実演があり、最後に水の入った消火器を使つての訓練が行われました。消防からは「いざという時は通報・火元確認などスタッフの分散がうまくできるように」「院内放送は火災報知器の音を下げたから」などの注意点が伝えられました。



シーツを使つての搬送



全員、消火器を使用しました